

12月議会

30日から始まります！ 上程議案は補正予算など27本と諮問1本



週刊 市議会報告

日本共産党

2018年11月26日

第1482号

【発行】
日本共産党
浦安市議団
☎&FAX
047-350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎047-355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎047-354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

12月議会（第4回定例会）の招集告示が行われました。市長から提案された議案は一般会計補正予算や条例の一部改正など27議案と諮問1件です。
12月議会招集日は11月30日です。

条例の一部改正議案の中から、以下の2議案についてお知らせします。

0.05カ月分
引き上げ
期末手当

市議会議員・市長・副市長・教育長の期末手当、さらに一般職職員のボーナスは年間4.40カ月分支給されていますが、これを4.45カ月分とし、0.05月分引き上げる改定内容です。

期末手当は6月と12月に支給されますが、今年度は今年6月支給分も遡及して適用されます。

また、一般職職員は初任給を1500円引き上げ、若年層で10000円程度、その他は4000円の引き上げを基本的に給料表を改定します。これらは人事院と千葉県人事委員会勧告に準じた改定内容となっています。これらの改定による影響額は合計で4974万2千円です。

	報酬月額
議長	63万円
副議長	56万円
議員	52万円
	給料
市長	100万円
副市長	83万円
教育長	75万円

- 議員の期末手当は報酬月額に乗じた額。
- 市長等の期末手当は給料と地域手当の合計額に乗じた額。

後期高齢者支援金分の均等割額・介護納付金分の所得割額の引き上げ

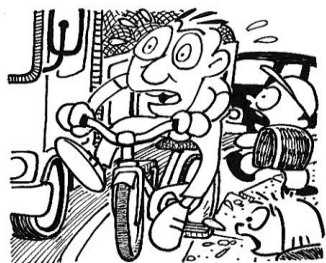
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分
所得割額	6.66%	1.83%	1.0%⇒1.45%
均等割額(一人につき年間)	17,400円	4,000円⇒8,000円	12,000円
平等割額(1世帯につき年間)	24,400円	なし	なし
課税限度額	580,000円	190,000円	160,000円

国民健康保険税は、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分を合計して課税額がきまります。また、それぞれに所得割額、均等割額、平等割額が設定されていますが、条例改定案は上表の矢印(⇒)のように引き上げる内容です。

今年度から国民健康保険の財政運営を千葉県がおこなう「都道府県化」が実施されています。ところが、本市は移行前から都道府県化をにらみ、本市の保険税は他市町村に比べて低いという理由で、引き上げが繰り返されてきました。

議案はさらに来年4月1日から増税する内容となっています。

国保税
引き上げ



信号機設置と運用改善

千葉県公安委員会に申し入れ

日本共産党は、11月19日、6月から8月まで3カ月にわたって実施した市民アンケートに寄せられた回答の中から信号機設置や運用の改善に関する要望事項を取りまとめ、千葉県公安委員会に申し入れを行いました。



申し入れ書を手渡す党市議団（11月19日）

申し入れ事項は次の通りです。

- ①若潮通り入船美浜交差点・今川橋交差点の歩車分離式信号機について、スクランブル化や信号時間体系の見直しなどを行うとともに自転車通行マナーの啓発を促進してください。
- ②イオンやモナへ入る交差点を歩車分離信号にしてください。
- ③入船交差点を高齢者や障がい者が安心して渡れるよう改善してください。
- ④運動公園前交差点は、朝7～9時の南向き275号線の右折信号が短く渋滞が非常に激しい。渋滞を解消してください。
- ⑤浦安駅前スクランブル交差点に右折信号をつけるなど改善してください。

⑥東西線浦安駅近くのワイズマート前、新浦安駅の若潮通りの駐停車対策を強化してください。

⑦明海1丁目、夢見の街付近の信号機設置、横断歩道を整備してください。

⑧明海・日の出（6・7丁目付近）地区に信号機を設置してください。

⑨新浦安駅西側付近の車道を人が横断しているため、安全対策を講じてください。

歩車分離式交差点スクランブル化を

今川橋は自転車と人が歩道を通行し、大変危険な状態です。

今年3月、若潮通りの3つの交差点に歩車分離式信号が導入され、歩行者と自転車の待ち時間が長くなり、歩道に人があふれ、さらに危険な状況となっているため、スクランブル化など改善を求める声が多数寄せられました。

3つの交差点のうち、美浜・入船交差点は千葉県としてもスクランブル化の方向で考えていることがすでに明らかにされていますが、日本共産党は、今川橋の西詰交差点と東詰交差点のスクランブル化も検討するよう申し入れました。

県公安委員会交通規制課の担当者「車止め、支柱、ガードレールなど道路構造物の見直しが必要になり、可能かどうか道路状況を見ながら、さらなる検討が必要」との考えを示しました。

公安委員会として現地確認が必要な場所などについては、状況や実態を調査したうえで、後日改めて回答してくれることになりました。

